

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-4-2		事業名	「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業
担当	都市局開発事業部調整担当課 武市 211-2721			
全体計画				
事業内容	<p>河川防災ステーションは、豊平川の洪水時における河川の保全活動及び災害時の緊急復旧活動を行なう拠点として、東雁来第2土地区画整理事業地内に、国が管理する河川防災ステーションとの中に札幌市の水防センターを併設するものである。平常時には防災減災に向けた市民活動などによる利活用を図る。</p> <p>【施設概要】 延べ面積 850㎡ 構造 RC造2階建て(国と札幌市の共用施設) 施設内容 河川管理施設、防災交流施設(水防倉庫、水防団詰所、広報室、管理人室、車庫) 平常時 防災訓練機能、研修・学習機能、情報発信機能</p>		<p><年度別の事業内容></p> <p>「豊平川札幌地区河川防災ステーション」 水防センター建設事業年次 (札幌市施行分) 平成20～22年度 (事業内訳) 平成20年 基本設計 平成21年 実施設計 平成22年 工事着手及び完成(予定)</p>	
	<p style="text-align: center;">平成19年度事業内容(決算)</p> <p><19年度の主な事業・取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計に向けて関係部署との協議調整を進めた。 ・平成19年6月に、北海道開発局と札幌市において「豊平川川づくり・まちづくり連絡協議会」及び同協議会内に「河川防災ステーション部会」を発足し、施設計画及び管理運営計画の協議調整を行った。 ・それに基づき「河川防災ステーション整備計画」と「水防センター整備計画」の基本方針を作成し、平成20年度に実施する水防センター基本設計の方向性が明確になった。 <p style="text-align: center;">基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊平川全流域における災害時の防災・減災活動の支援拠点 ・東雁来地区の水防活動を円滑に行うための施設 ・河川事業の紹介や情報発信の場 ・水防活動を中心とした防災訓練の場 ・水防対策などの防災研修や学習活動の場 		<p style="text-align: center;">平成20年度事業内容(決算)</p> <p><20年度の主な事業・取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水防センターの実実施設計を実施した。 ・平常時利活用と施設整備及び運営・維持管理について関係部局、及び「河川防災ステーション部会」での協議調整を行なった。 	
事業場所	<p style="text-align: center;">平成21年度事業内容(予算)</p> <p><21年度の主な事業・取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水防センターの建設工事を行う。 ・利活用プログラムを作成し、運営・維持管理について関係部局との協議調整を進める。 		<p style="text-align: center;">平成22年度事業内容(予算)</p>	
	事業規模			
案件数等				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-4-2			事業名	「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
水防センター建設	-	-	実施設計	施設建設	/	工事完了	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 【情報発信・交流機能】河川を軸とした文化活動の拠点として活用するとともに、広く市民に対して河川事業の紹介や情報発信を行う。 【研修・学習機能】広く市民を対象とした水防対策などに関する防災研修や、小中学生を対象とした体験学習(キャンプ等)の場として提供する。</p> <p>企業等との連携・協働 【資金協力】 【人材協力】 【情報協力】 【その他の協力】</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 市内で防災活動や体験学習(キャンプ等)を実践している市民団体等からヒアリングを実施し、当該施設の管理活用計画に意見を反映させていく。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>関係部署との協議調整や、「豊平川川づくり・まちづくり連絡協議会(防災ステーション部会)」での協議調整により、平常時利活用として「情報発信・交流」と「研修・学習」機能を盛り込んだ整備基本方針を策定した。それに基づき水防センターの基本設計及び実施設計を行った。</p>				<p>「水防センター」の供用開始時期に合わせて、施設の運営・活用方針を定め、利活用を開始する必要がある。また、それらを含めた河川防災ステーション全体の利活用プログラムを策定する必要がある。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>水防センターについては、平成21年度に建設工事に着手し、平成22年度からの供用開始を予定している。 また、北海道開発局が行う河川防災ステーションの基盤整備については、平成24年度まで継続して整備が進み、平成25年度には施設全体が供用開始される予定である。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-4-2		事業名	「豊平川札幌地区河川防災ステーション」整備事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	4,000	10,000	297,000	311,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	148,500	148,500	
	市の債	0	0	0	133,000	133,000	
	その他の他	0	4,000	0	0	4,000	
一般財源	0	0	10,000	15,500	25,500		
予算	事業費	0	4,000	112,000		116,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
	その他の他	0	0	10,400		10,400	
一般財源	0	4,000	101,600		105,600		
実績	事業費	0	4,932			4,932	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0			0	
	市の債	0	0			0	
	その他の他	0	0			0	
一般財源	0	4,932			4,932		
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				37.6%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
<p>(全体) 水防センター(国・市の合築)を、計画では国(開発局)からの負担金を受けて札幌市が一括で発注することとしていたが、国と市のそれぞれが発注するよう変更になったため、事業費に大きな差異が生じた。(平成21年度に計上した事業費は、市分のみの事業費であり、国分の事業費は計上していない。)</p> <p>また、国分施設の建設が平成21年度に早まったことに合せ、市分も同一年度に建設することとしたため、予算執行年度が一年前倒しになった。</p> <p>[19年度] 計画との差異はない。</p> <p>[20年度] 基本設計ではなく、一年早く実施設計を行った。(施設全体の基本設計は国の負担で行われ、市の負担がなくなった。)</p> <p>[21年度] 実施設計ではなく、一年早く建設工事を行う。</p>							